TSUNAGITE Inc.

SECOND QUADRANT × MENTAL PERFORMANCE

第2領域を動かし、メンパを高める。

時間・思考・気持ちに、余裕をつくる。

大切だと分かっていても、後回しになる仕事がある。
その一歩を、人・技術・制度をつなぎながら支えていく。

時間の余裕	思考の余裕	気持ちの余裕

01 / THE OWNER'S REALITY

経営者を疲れさせるのは、仕事の量だけではない。

02

今日の売上、目の前の顧客、現場で起きた問題。すべてが大切だからこそ、次の一手を考える余裕が失われていくことがあります。

DECISION

決め続ける責任

情報が足りないまま、優先順位や費用を判断する。経営者の頭から、検討事項が消えません。

DELEGATION

任せる難しさ

担当や手順が曖昧なままでは、任せたつもりでも確認が自分に戻ってきます。

UNCERTAINTY

見通しの立たなさ

何から手をつけ、誰に頼み、いつまでに進めるか。道筋が見えないと着手は遠のきます。

SECOND QUADRANT

未来の仕事の後回し

人材育成、販促改善、IT環境の整備。今は急がない仕事ほど、予定に入らず積み残されます。

必要なのは、さらに頑張ることではなく、前へ進める状態をつくること。
つなぎ手は、課題を一人で抱え込まずに済むよう、整理・判断・実行の進め方から支援します。

02 / WHAT WE MEAN BY MENPA

メンパは、気合いでも精神論でもない。

つなぎ手が考えるメンパ（メンタルパフォーマンス）とは、企業や働く人が、本来向けるべきことへ力を使えるようにするための「余裕」の考え方です。

01 / TIME

時間の余裕

手戻り・情報探し・繰り返し作業を減らし、本業や未来の準備へ使える時間をつくる。業務の手順や担当を整えることから始めます。

02 / THINK

思考の余裕

課題・選択肢・期限・費用を見える形にする。考えることを減らすのではなく、大切な判断へ集中できる環境を目指します。

03 / MIND

気持ちの余裕

「次に何をすればよいか」が分かる状態をつくる。不安や迷いを抱えたまま止まらず、人と相談しながら進める環境を整えます。

仕事が整理される

判断がしやすくなる

前へ進む余裕が生まれる

※メンパは当社の支援価値を説明する考え方です。精神的効果や業績改善を保証するものではありません。

03 / FROM IMPORTANT TO ACTION

第2領域は、「時間が空いたら」では動かない。

重要だが緊急ではない仕事ほど、意識するだけでは予定から抜け落ちます。だからこそ、着手できる大きさと手順に変えていきます。

IMPORTANT × URGENT

第1領域

納期、トラブル、顧客への急ぎの対応など、今すぐ取り組む仕事。

IMPORTANT × NOT URGENT

第2領域

事業改善、人材育成、HP改善、IT・セキュリティ整備、将来への準備。

NOT IMPORTANT × URGENT

第3領域

目的の曖昧な依頼や割り込みなど、優先順位の見直しが必要な仕事。

NOT IMPORTANT × NOT URGENT

第4領域

慣習だけで続ける作業など、見直しや削減を検討できる仕事。

まず「動ける状態」へ。

01 / DEFINE

課題を一文に

何が止まっているのかを、誰もが理解できる言葉にする。

02 / START

最初の一手を

最小の作業・担当者・必要な情報を決める。

03 / FOLLOW

次の確認日を

実行して終わらず、進捗と変化を振り返る。

> 大きな改革を約束するより、**後回しの仕事が一つ前へ動くこと**を大切にします。

04 / FOUNDER’S STORY · TECHNOLOGY

技術の先に、人がいる。

21 YEARS OLD

私は、子どもの頃からパソコンが好きだったわけではありません。パソコンを覚えたのは21歳のときです。コードを書き、データベースを組み込んだWebサイトを、ゼロから開発していました。

技術を学ぶほど、私の関心は「どれほど難しいものを作れるか」ではなく、**「それは誰の、どんな仕事を良くするのか」**へ向かっていきました。使う人の仕事が前へ進まなければ、どれほど立派な仕組みでも意味がありません。

A LESSON THAT REMAINS

「3行の役に立つプログラムと何万行のゴミ」

かつて教わり、今も大切にしている言葉です。技術の複雑さや規模ではなく、使う人にとって本当に役立つことが価値になる。今も仕事の判断基準にしています。

難しい仕組みを作ることが目的ではない。
人と仕事の前進につながる便利さを届けることが目的です。

05 / FOUNDER'S STORY · PEOPLE

依頼者の、その先まで。
仕事をつなぐ。

目の前の依頼を終えることと、その仕事が本当に役に立つことは、同じではありません。つながりの先にいる人まで考える視点を大切にしています。

01 / TECHNOLOGY

役に立つ技術

仕事を通じて培ったのは、技術そのものを誇るのではなく、誰の役に立つかを判断の中心に置く姿勢です。

02 / BUSINESS

その先まで考える商売

現場で学んだのは、依頼者だけでなく、その先の顧客や仕事を引き継ぐ人まで想像する姿勢です。

今より少し上の便利さを。

大がかりな変化を押し付けるのではなく、今の仕事と人に合った一歩を見つけたい。小さな便利さが、時間・思考・気持ちの余裕へつながると考えています。

WHY MENPA?

だからこそ、私は第2領域を動かすことに意味があると考えています。後回しになる大切な仕事を整理し、人・技術・制度をつなぎ、実行へ進める。そこで生まれた余裕が、次の挑戦や「楽しい」関わり合いを生む。その循環をつくることが、つなぎ手の目指す仕事です。

株式会社つなぎ手　代表取締役 松本直也

06 / HOW WE WORK

「何を売るか」より、「何を前へ進めるか」。

最初からHP制作やAI導入を答えにするのではなく、何が課題なのかを確かめ、必要な手段を選びます。つなぎ手は、整理から実行までを支える存在です。

課題を整理 → 手段を選択 → 実行を支援 → 変化を確認

4つの支援領域と、メンパ。

CUSTOMERS

顧客につなぐ。

HP制作・SEO・販促物の整備。伝えたい価値を整理し、顧客との接点づくりを支援します。

WORK

仕事につなぐ。

AI・IT・業務改善。情報共有や作業の進め方を見直し、繰り返しの負担を軽くします。

SYSTEMS

制度につなぐ。

補助金・助成金の活用支援。制度と事業計画の接点を整理し、必要な手続きを確認します。

FUTURE

次につなぐ。

経営相談・事業改善。目の前の課題を将来の選択肢につなぐ実行計画を考えます。

つなぎ手が引き受けるのは、整理と実行を進めるための支援。
最終的な経営判断は経営者自身が行います。だからこそ、判断に必要な情報と次の一手を明確にします。

07 / THE PURPOSE OF TSUNAGITE

余裕の先に、
「楽しい」が生まれる。

時間の余裕は、誰かと向き合う時間へ。
思考の余裕は、次の挑戦を考える力へ。
気持ちの余裕は、人とつながる一歩へ。

地域社会に
「楽しい」関わり合いの連鎖を！

メンパを高めることは、単に仕事を早くすることではありません。働く人と企業が、次の可能性へ向かえる状態をつくること。つなぎ手は、その一歩を支えます。

START WITH ONE QUESTION

後回しになっている大切な仕事は、何ですか。

tsunagite.co.jp/menpa/

相談内容に応じて支援範囲や費用を個別にご案内します。
心理面・業績などの成果を保証するものではありません。